

慶蔵院寺報

公孫樹

2023年10月発行

第141号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

☎0596(22)3726



慶蔵院 落語会 画 山寄淑子

念仏は私自身が称えることですが、往生は仏さまがさせてくれることなのです。念仏をして、お育てを頂きます

九月十四、十五日と大正大学で行われた「浄土宗総合学術大会」に研究発表者として参加しました。多くの人が南無阿弥陀仏と自信をもって称えてもらうにはどうしたらよいのか。「私はこう考える」と参加者に問いかけたからです。言うまでもなく「自信をもって」とは、「自ら念仏を信じ、念仏のちからを確信して」という意味です。

私の出番は二日目の最後から二番目であったため、一日目、発表者の意見を聞き、5分しかない質問時間をフルに利用して「それは念仏の興隆にどのようなつながるのか？」の観点で質問しました。夜はホテルで、一日目の発表に絡む形で、私の発表原稿をA3一枚にまとめました。夜中にコンビニで必要部数の印刷をしました。便利な世の中です。発表時間は15分しかありません。

当日、私の発表には質問の手が上がりませんでした。「質問がないのならその時間も私に：」とさらに5分発表をつづけました。参加者にはどのようなうけとめられたのでしょうか。おそらく老人の遠吠えとしか聞こえなかったのでしょうか。一瞬、「無駄なのか？」との思いがよぎりました。しかし、私はすぐに立ち直り、「来年は京都、仏教大学でおこなわれる。来年も出るぞ」と決意したのでした。

私の論点はただ一つ。往生は死んでからだけの事ではない。もちろん極楽に永遠に導かれ、成仏させていただけることは、信仰の根本です。しかし同時に私たちは日々、念仏を通して阿弥陀様の「お育て、お守り、お導き、お救い」をいただいて、今日の私から明日の私へと成長させていただいているのです。これを往生といふのです。それがうまくいかないのが立往生です。「思うようにいかないので、往生したわ」の生き方を捨てて、念仏を第一とする生活へ、「往生は仏の所作なり」と受け止めて邁進したいものです。

10月の行事予定



4日(水)	写経会 男性詠唱隊	午前10時～ 午後7時～
9日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	午後1時半～ 参加費2000円 と 花代
11日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～ 一会館にて 無料 おひねり歓迎
18日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費500円
14日・28日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
25日(水)	戦没者慰霊平和の鐘 地蔵講・地蔵堂開帳	朝の勤行にて 鐘撞は午前8時頃～ 午後1時半～
15日(日)	子ども会	午前10時～
29日(日)	下小俣念仏行脚・ 第15回大念仏	午前9時～念仏行脚 午後1時～大念仏
12日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
13・27日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて

私の体験から話しますと、記憶は定かではありませんが、四才頃、顔の右目の横にヤカンの熱湯をかぶり、こぶし大ほどに火傷を負ってしまいました。母が即座に胡瓜の古漬けを綿にしみこませて傷口に当ててくれました。乾いてきたら取り替えて何度も当ててくれました。おかげでひりひりすることもなく、ケロイドの傷もなく治りました。その後も何度が軽いやけどをしましたが、すべてこの方法で治しました。最近では、みそ汁を両足首にかけてしまいました。この方法により一か月ほどで治りました。病院には行きませんでした。

胡瓜の民間治療薬の作り方は正確には覚えていませんが、熟して黄色くなった胡瓜の種をとって細く刻み熱湯消毒した広口ガラス瓶に入れて、冷暗所に置いておき、果肉が分解し、上澄みができてくれば使えると思います。数十年前に母が作った物がありますが、淡褐色の上澄みと果肉の沈殿物になっており、カビも生えておらず変な匂いもありません。胡瓜はインド北部、ヒマラヤ山麓が原産で、日本へは中国経由で伝わって平安時代から栽培されていたそうです。かなり昔からこの民間療法は利用されていたと思われます。母も知人に教えてもらって作っていました。胡瓜は熱を取る作用があるので関心のある方は作ってみてください。(文 麻畑公生)

念仏行脚道順

- | | | | |
|----|-------|------------|-------|
| 9時 | 慶蔵院出発 | ①堤防下の山神 | 9時10分 |
| | | ②チカネバ地藏 | 9時20分 |
| | | ③松家さん前の山神 | 9時30分 |
| | | ④鈴木十重善さんの碑 | 9時40分 |
| | | ⑤庚申さん・山神 | 9時50分 |
| | | ⑥公民館・流行社碑 | 10時 |



10時10分 公民館出発—北爪家—西山桂家—倉野節子家—中村定一家—宮本晴司家—中山憲一家—辻井廣美家—中西敏喜家—宮本勉家—中山一彦家—補永家—宮西家—中森家—10時40分 慶蔵院着予定

第十五回大念仏

十月二十九日(日)

午前九時〜

下小俣念仏行脚

午後一時〜四時半



住職の健康回復への道のり

(20)

現在、体重は63kgを前後しています。一年九カ月前より13kg減量したことになります。特に無理をしたわけではありません。「食へ方七か条」に従って毎日を積み重ねてきました。30回噛むことから始めました。

- ① 「いのち」に感謝し
 - ② お腹がすいているとき
 - ③ 腰を伸ばし正しい姿勢で
 - ④ よく噛み一口30回。
 - ⑤ 飲み物はコップ一杯
 - ⑥ 冷たい物は禁物
 - ⑦ 息は深く長い呼吸
- 油断すると食べ過ぎてしまいます。失敗談まーり聞くと可なり報告してくまーり。建表

落語会「いちご亭」

無料です

第2水曜 11日 午後7時 慶

会館



重陽の節句あなたと阿弥陀仏

奥田 悦生

(「知恩」九月号「柳壇」に掲載)

第121回



10月15日(日) 午前10

第一部 高橋薫さんグループによる絵本読み聞かせ・紙芝居

第二部 「遊ぼう!絵本・わらべうた」



先生のお話しを聞くと絵本も歌も大好きになります。みなさん、来てください!!

麻畑公生の「浄土宗新聞」

見どころ・読みどころ

ろ

p.1「鐸声」を読んで、お墓のことで考えさせられました。昨今、墓じまいをして、永代供養をする人が増えています。墓地に埋葬せず海に散骨したり樹木葬にしたりする人もいます。

p.2の本の紹介の「絶滅する墓・日本の知られざる弔い」が参考になると思いますが、浄土宗大辞典で墓の項を見てみると、時代によってすいぶん変わって来ていることがわかりました。7世紀頃は庶民の墓はなく、死体を道端に遺棄していたそうです。高貴な人のみに墓があったようです。時代が下るにしたがって現在の墓の形になってきたのです。簡単になくしてもいいのでしょうか。





人生とは、単なる人生ではない

如來にもて生かされてる

仏生であります。

自分の意思で自分勝手な

方向へ動いたり

仕事をするとのでない。

自分は宇宙大の自己

無我の我、宇宙我、

大我、無限大の心

大切に生きておけばならぬ。

中野善英上人

朝のラジオに「明日への言葉」という番組がある。先日横浜の港で働く二代目の取締役社長、藤木幸夫氏(93歳)の話を聞いた。港で育った藤木さんの横浜への思いに満ち溢れた話だった。

世界一の港、横浜では初めて出会った人であっても「なんだ、あんたも港湾の人か」と、港で働く人はみんな仲間だという意識が強いという。さらに藤木さんは、横浜に住む人や新しく横浜に移り住んだ人にも、「横浜ほどこい町はない」と言ってもらえるようにしたいと語った。

番組の最後に藤木さん、「私にはまだやらなければならぬ職業が残っているのです」と。アナウンサーが「それはなんですか」と問う。「はい、ご先祖様になることです。」「また続けて」「ご先祖様という民族になること」と語った

死んでも死なない、ご先祖様となって横浜のため、さらには横浜に住む人々の幸せのために、永遠に願いをもって務めを果たし続ける決意がうかがえる。しかも身内だけの内輪の話ではなく、「ご先祖様という民族」と、まさに仏の心に通じる発想だ。

長く生きても高々百歳の人生、たいしたことができるわけではない。しかし藤木さんの、ご先祖様になって、永遠に、願い、求め、務めつつけていくという強い意思を聞かされて、深く心打たれた。

そうなのだ。老人は皆、ご先祖様になる。そしてこの世で精いっぱい果たしてきた未完成の務めを、ご先祖様として、何時か必ず実現させていくのだと希望をつなぐ。これこそ念仏の道だ。「宇宙大の自己・無我の我・宇宙我・大我・無限大の心」こそ、今日の私から、明日の私へと「往生」しながら求め続けなければならない円満なる自己なのだ。南無阿弥陀仏。念仏のありがたさが身に染みてくる。